

平成30年下期 景気動向調査結果

～先行き不透明、労働力確保難・人件費増加・仕入価格上昇の影響続く～

和歌山商工会議所

- 目 的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：平成30年7月1日から平成30年12月31日(平成30年下期)
- 調査実施期間：平成30年12月20日から平成31年1月23日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 535事業所
- 回答数：回収数 136 (回収率 25.4%)

業 種		従業員数					
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
非製造業	製造業	7	7	12	4	14	44
	建設業	1	1	5	3	1	11
	小売業	6	6	1	1	2	16
	卸売業	1	4	1	4	3	13
	サービス業	21	9	5	5	2	42
	その他業	2	2	1	1	4	10
合 計		38	29	25	18	26	136

● 概 要

平成30年下期(7月～12月)の景況感は、製造業では、売上・採算などにおいて改善傾向が見られるものの、非製造業では「需要の減少」、「人員不足」、「販売不振」、「燃料費の高騰」等により、業況・売上・採算など前期比で悪化し全体的な景況感を押し下げた。また、全体的な悪化要因の一部として、台風被害による影響がうかがえた。

直面する課題として「従業員・熟練技術者の確保難」、「人件費の増加」、「仕入・原材料単価の上昇」が前期に引き続き挙げられ、小売業では「製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応」が大きな課題として捉えられている。

先行きについては、非製造業において業況・売上・採算など今期比で改善の見通しがうかがえるものの、製造業においては「原料費の高騰」、「米中貿易摩擦」ほか「季節要因」などを踏まえ、今期比で悪化する見通しが示されるなど、全体として先行き不透明感が払拭できない状況である。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・台風被害により復旧費用が増大するため、資金調達の準備
- ・次世代への移管・引継ぎ
- ・伝統技術を継承する職人の育成
- ・従業員の技能向上
- ・内製化による設備投資
- ・本社家屋建設にむけての計画
- ・生産管理ソフトを活用した工程管理、原価管理の強化
- ・生産現場にロボットを導入し、作業者の負担を軽減
- ・生産性の向上、効率化を図り経費を削減
- ・ロボットを活用した生産機器の受注に注力
- ・特化したHPの作製

●非製造業

- ・人材確保及び社内技術の充実・安定
- ・人材不足及び高齢化対策
- ・パート雇用や外国人留学生の雇用を積極化
- ・働き方改革への取り組みによる生産性の向上
- ・原材料費の高騰と消費税の増税に伴う価格転嫁対策
- ・ネット販売による販路拡大
- ・脱石油のための業態変化への取組み

※「DI値」とは

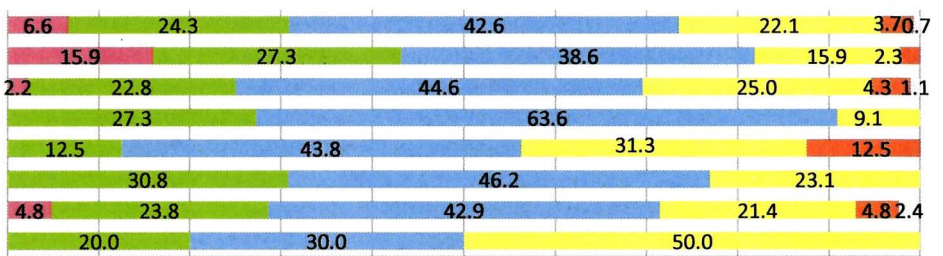
デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(H30年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 5.1 前期比 ▲2.3)
製造業	(今期 25.0 前期比 ▲1.5)
非製造業	(今期 ▲4.3 前期比 ▲2.3)
建設業	(今期 18.2 前期比 18.2)
小売業	(今期 ▲31.3 前期比 ▲38.0)
卸売業	(今期 7.7 前期比 14.8)
サービス業	(今期 2.4 前期比 ▲4.1)
その他業	(今期 ▲30.0 前期比 ▲8.9)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 無回答

今期(H30年7月～12月)の状況

製造業で25.0(前期比▲1.5)、非製造業で▲4.3(前期比▲2.3)、全業種で5.1(前期比▲2.3)となり、製造業・非製造業ともに前期に比べ微減となった。

製造業でやや悪化、悪化した要因としては、「台風21号による影響」、「原料価格の上昇」等が挙げられ、非製造業での同要因としては、「公共工事の受注減少」、「需要の減少」、「人員不足の影響」、「市況悪化による販売価格の下落」等が挙げられている。

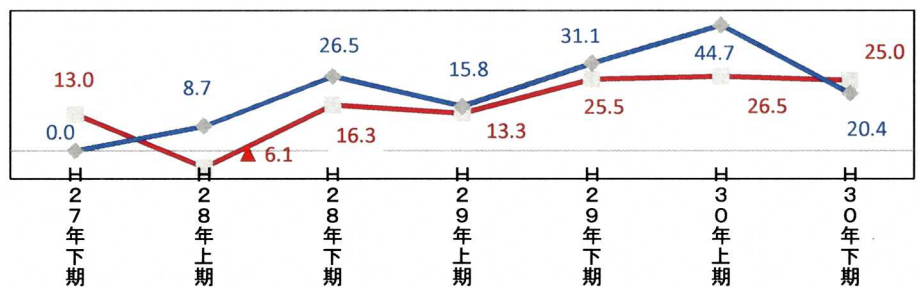
※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 今期のDI値

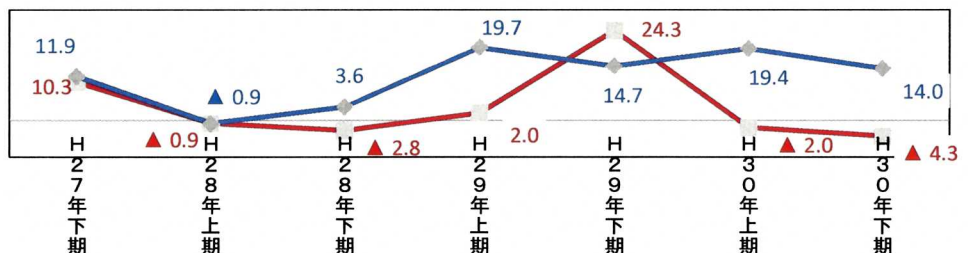
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 今期のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

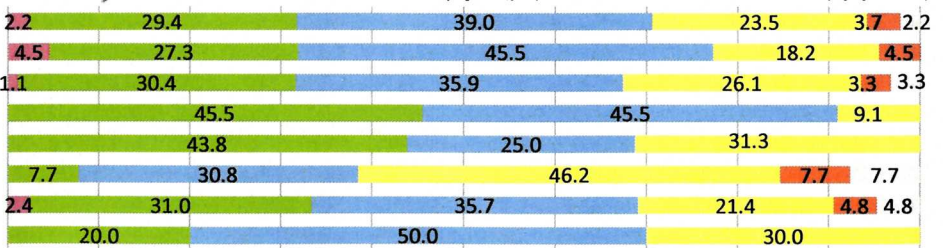


来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 4.4 今期比 ▲0.7)
製造業	(見通し 9.1 今期比 ▲15.9)
非製造業	(見通し 2.2 今期比 6.5)
建設業	(見通し 36.4 今期比 18.2)
小売業	(見通し 12.5 今期比 43.8)
卸売業	(見通し ▲46.2 今期比 ▲53.8)
サービス業	(見通し 7.1 今期比 4.8)
その他業	(見通し ▲10.0 今期比 20.0)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 無回答

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では15.9ポイント悪化の9.1、非製造業では6.5ポイント改善の2.2、全業種で0.7ポイント悪化の4.4と見通している。製造業のやや悪化、悪化要因として、「原料費の高騰」、「米中貿易摩擦」等が挙げられる一方、非製造業では、卸売業以外は今期比より改善の見通しとなった。

今期(H30年7月～12月)のDI値



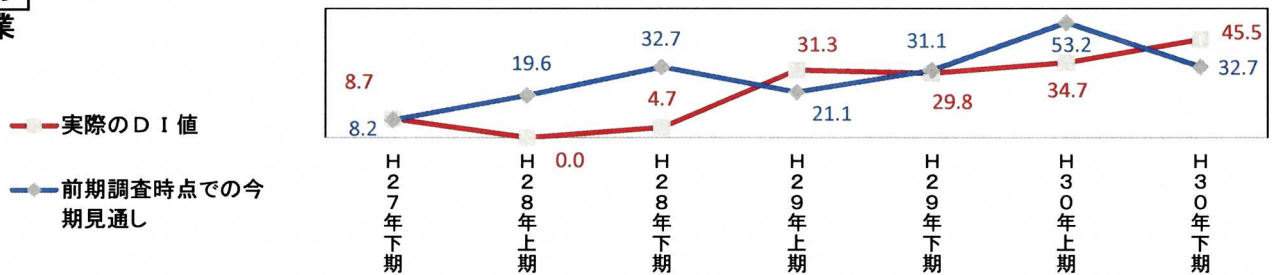
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

今期(H30年7月～12月)の状況

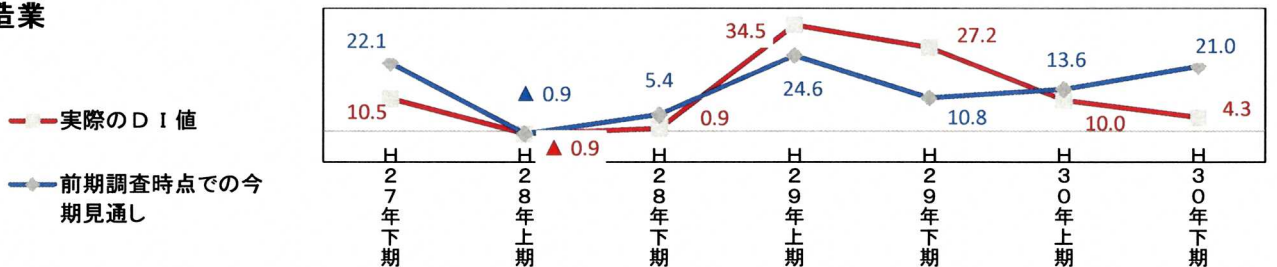
売上DI値は、製造業で45.5(前期比+10.8)、非製造業で4.3(前期比▲5.7)、全業種で17.6(前期比▲0.5)となり、製造業では改善傾向が続くものの、非製造業では建設業、その他業以外は前期比マイナスとなり、全体で前期より悪化した。製造業におけるやや増加、増加要因としては、「元請会社の業績が好調」、「顧客先の増産に伴う受注増」等が挙げられる一方、非製造業のやや減少、減少要因としては、「需要の減少」、「人員不足」、「販売価格の下落」等が挙げられた。

※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業



非製造業



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で29.5ポイント悪化の15.9、非製造業で2.2ポイント改善の6.5、全業種で8.1ポイント悪化の9.6と見通している。製造業におけるやや減少、減少要因として、「半導体業界がやや減少」、「米中貿易摩擦」、「季節要因」等が挙げられた。

今期(H30年7月～12月)のDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年7月～12月)の状況

採算DI値は、製造業で18.2(前期比+6.0)、非製造業で▲9.8(前期比▲6.8)、全業種で▲0.7(前期比▲2.7)となった。非製造業におけるやや悪化、悪化要因として、「販売不振」、「設備投資による経費の増加」、「残業等による人件費率の悪化」、「台風による修繕費」、「燃料費の高騰」等が挙げられている。

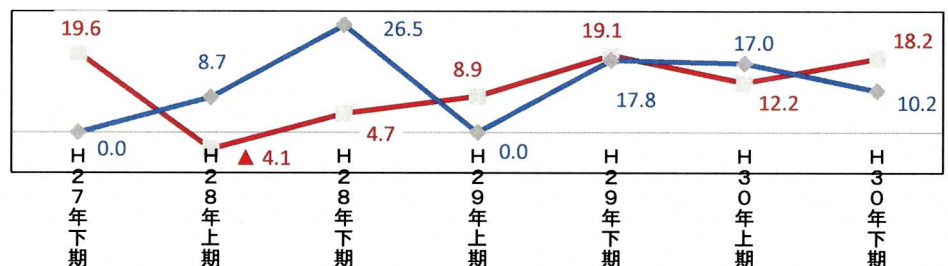
※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

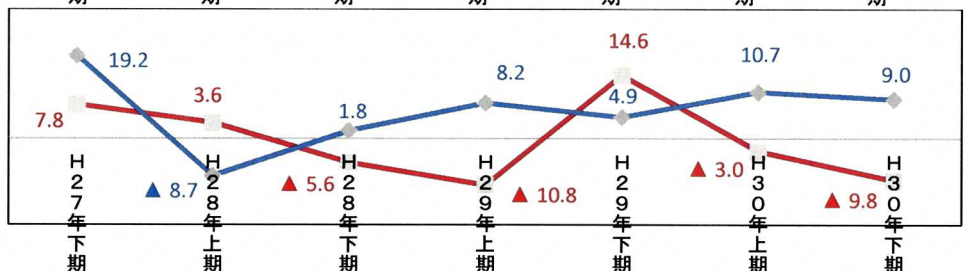
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で9.1ポイント悪化の9.1、非製造業で7.6ポイント改善の▲2.2、全業種で2.2ポイント改善の1.5と見通している。非製造業を業種別で見ると、卸売業以外の業種は全て改善を見通しており、やや好転・好転の要因として「営業努力」、「費用対効果の検証と行動への取組み」、「収支の改善」等が挙げられている。

今期(H30年7月～12月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年7月～12月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で22.7(前期比+12.5)、非製造業で▲8.7(前期比▲11.7)、全業種で1.5(前期比▲3.9)となった。製造業は前期に比べ改善したものの、非製造業では建設業の横ばいを除き、4業種において前期に比べ悪化した。

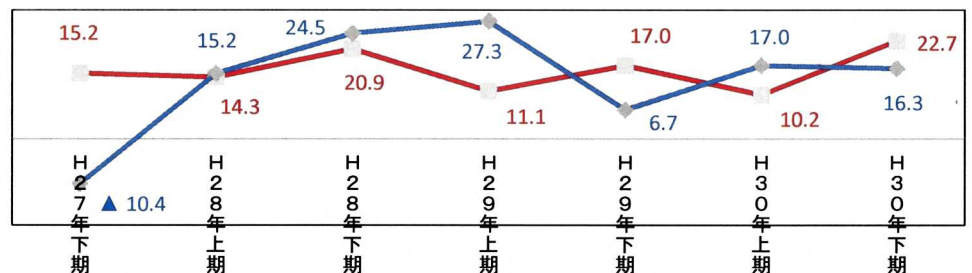
※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

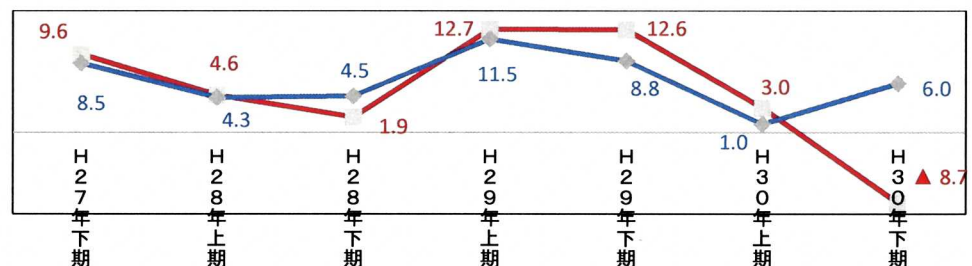
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

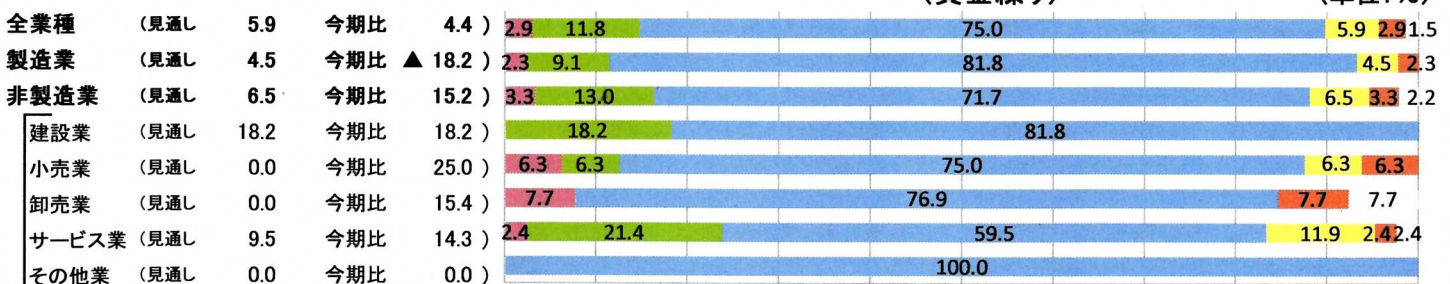
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲18.2ポイント悪化の4.5、非製造業で15.2ポイント改善の6.5、全業種で4.4ポイント改善の5.9と見通している。非製造業では全ての業種で維持・改善を見通しているものの、プラス域に達する見通しは建設業およびサービス業のみとなった。

今期(H30年7月～12月)のDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

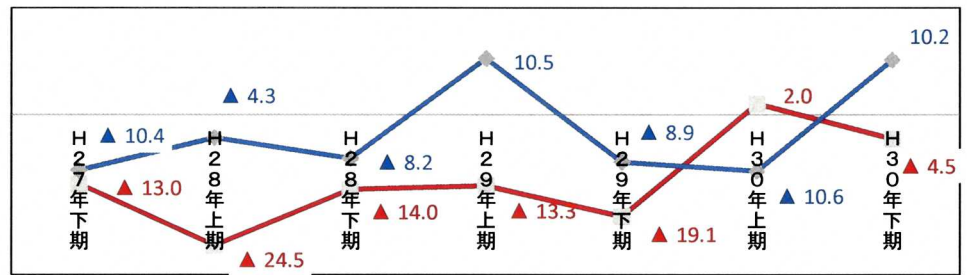
今期(H30年7月～12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲4.5(前期比▲6.5)、非製造業で▲4.3(前期比+2.7)、全業種で▲4.4(前期比▲0.4)となった。製造業では悪化、非製造業では前期比で改善したもののマイナス域を脱しておらず、とりわけ「小売業」、「サービス業」では在庫の過剰傾向が続いている。

※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

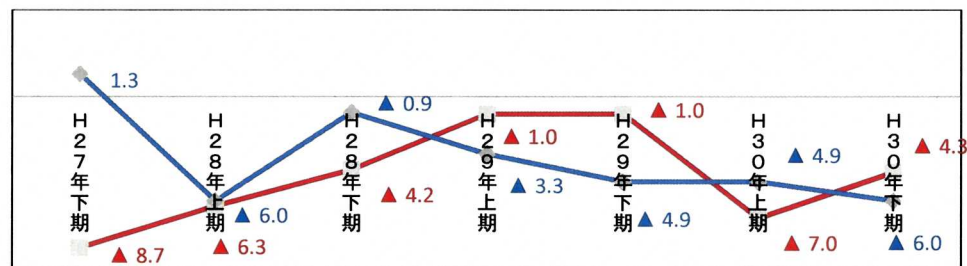
DI値の推移
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

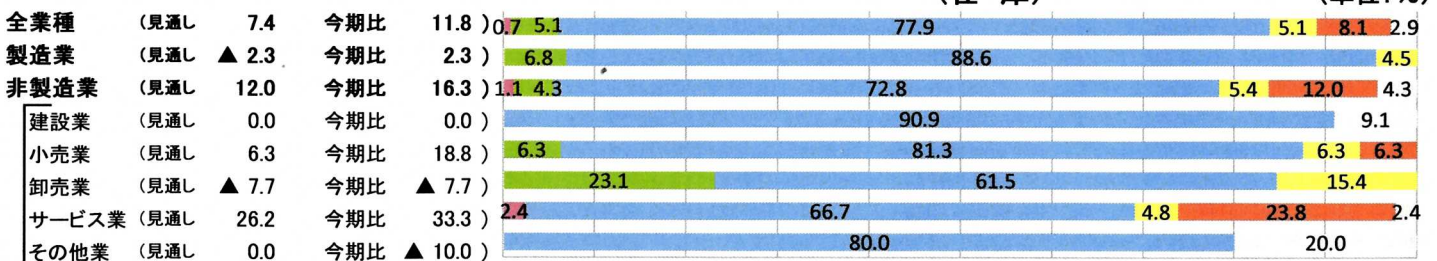
— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で2.3ポイント改善の▲2.3、非製造業で16.3ポイント改善の12.0、全業種で11.8ポイント改善の7.4と見通している。非製造業では「卸売業」のみがマイナスを示し、在庫が過剰となる見通しで、小売業およびサービス業では在庫不足の見通しとなった。

【 仕入単価DI値 】

今期(H30年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(H30年7月～12月)の状況

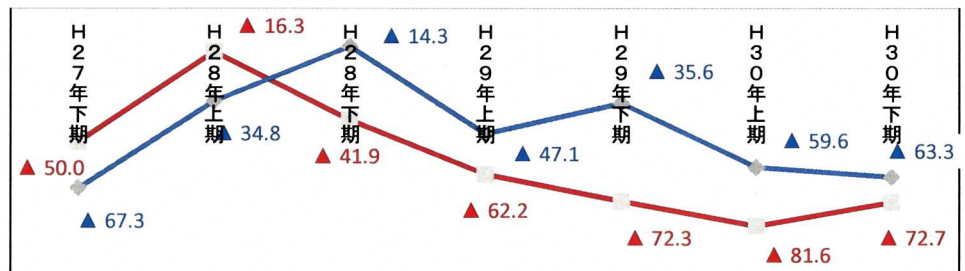
仕入単価DI値は、製造業で▲72.7(前期比+8.9)、非製造業▲33.7(前期比+5.3)、全業種で▲46.3(前期比+6.7)となった。製造業、非製造業ともに前期比で改善が見られるものの、依然マイナス域で推移しており、「建設業」、「小売業」においては前期に引き続き仕入単価の上昇傾向が続いている。

※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

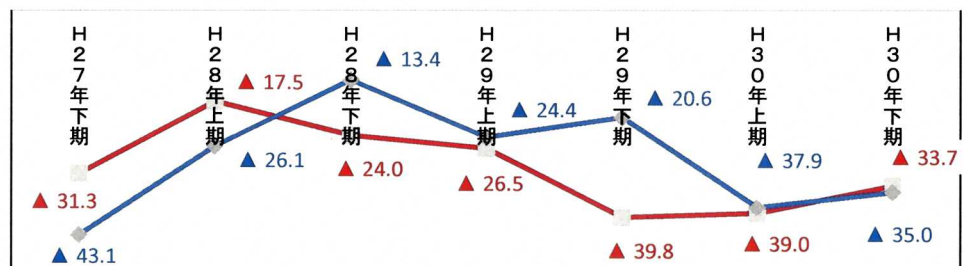
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

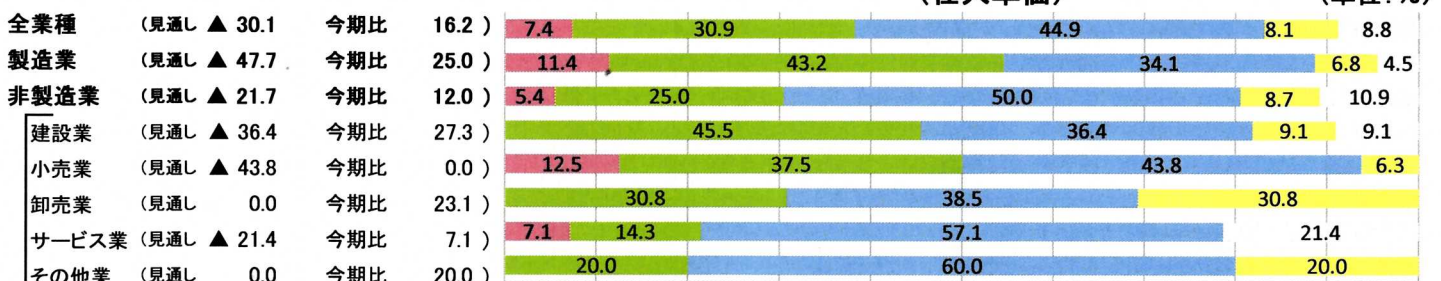
— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で25.0ポイント改善の▲47.7、非製造業で12.0ポイント改善の▲21.7、全業種で16.2ポイント改善の▲30.1と見通している。製造業、非製造業ともに今期比で改善傾向を見通しているものの、全業種でプラス域に達することなく厳しい見通しとなった。

【 従業員数DI値 】

今期(H30年7月～12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(H30年7月～12月)の状況

従業員数DI値は、製造業で25.0(前期比+8.7)、非製造業で0.0(前期比▲13.0)、全業種で8.1(前期比▲6.0)となった。製造業では前期に引き続き増加傾向を示したものの、非製造業では小売業以外の業種全てにおいて前期比でマイナスとなり、小売業においてもマイナス域を脱するまで至っていない。「直面している課題(P10参照)」においても、製造業・非製造業ともに「従業員・熟練技術者の確保難」の比率が最も高く、前期に引き続き業況に影響を与える大きな要因のひとつとなっている。

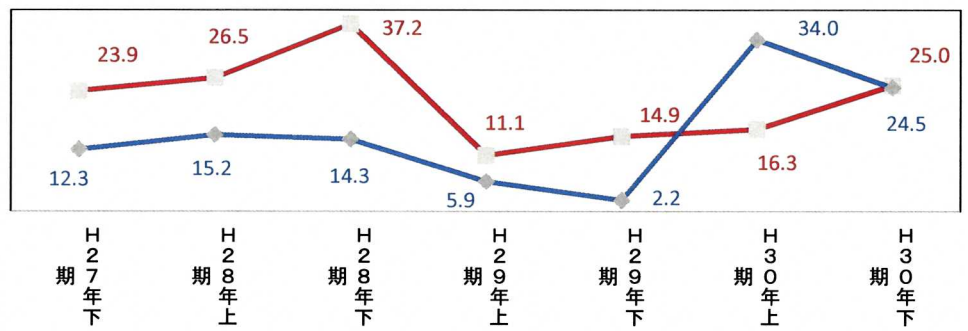
※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

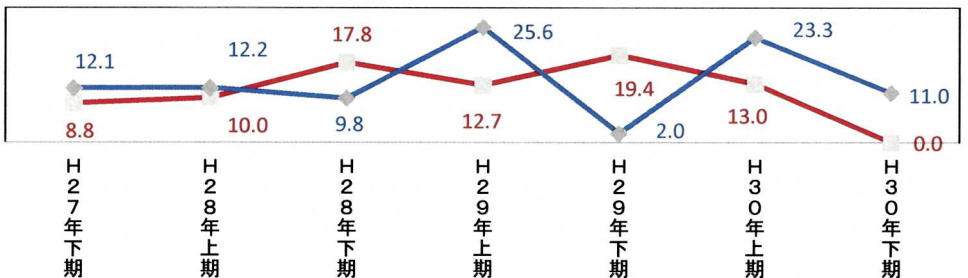
— 前期調査時点での今期見通し



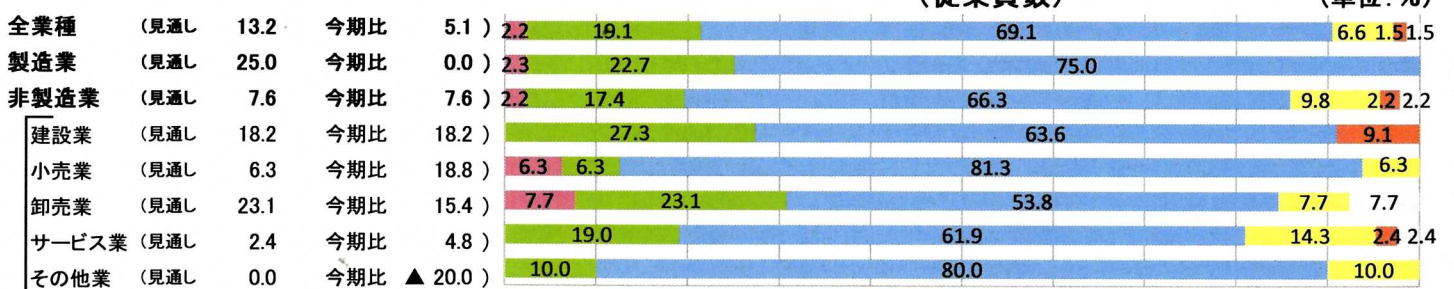
非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で25.0と横ばい、非製造業で7.6ポイント上昇の7.6、全業種で5.1ポイント上昇の13.2と見通している。非製造業を業種別で見ると、「その他業」のみ今期より下降する見通しとなった。

【 設備DI値 】

今期(H30年7月～12月)のDI値

(設 備)

(単位: %)

全業種	(今期 7.4 前期比 ▲ 8.0)	5.1	78.7	9.6	2.9	3.7
製造業	(今期 9.1 前期比 ▲ 13.3)	2.3	84.1	9.1	2.3	2.3
非製造業	(今期 6.5 前期比 ▲ 5.5)	6.5	76.1	9.8	3.3	4.3
建設業	(今期 0.0 前期比 0.0)		90.9			9.1
小売業	(今期 12.5 前期比 19.2)		87.5	6.3	6.3	
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲ 21.4)	15.4	69.2	7.7	7.7	
サービス業	(今期 7.1 前期比 ▲ 12.3)	7.1	71.4	11.9	2.4	7.1
その他業	(今期 10.0 前期比 ▲ 11.1)	10.0	70.0		20.0	

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 無回答

今期(H30年7月～12月)の状況

設備DI値は、製造業で9.1(前期比▲13.3)、非製造業で6.5(前期比▲5.5)、全業種で7.4(前期比▲8.0)となった。製造業、非製造業ともに前期比で悪化した。非製造業における「小売業」のみが前期比でプラスに転じた。

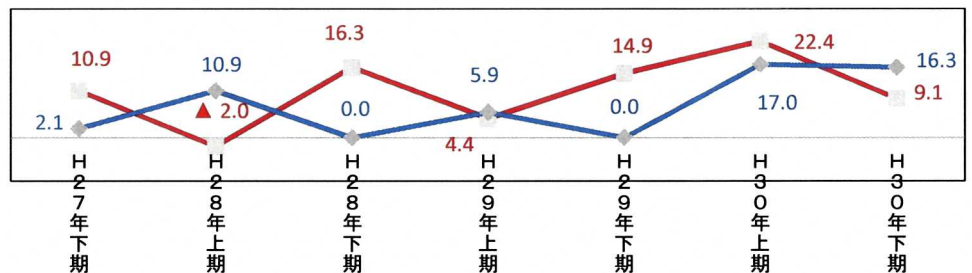
※前期比とは、前回調査(平成30年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

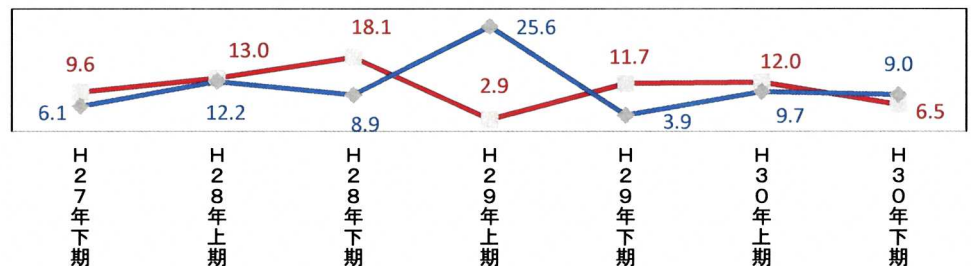
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)

全業種	(見通し 5.9 今期比 ▲ 1.5)	5.1	81.6	10.3	0.7	2.2
製造業	(見通し 6.8 今期比 ▲ 2.3)	2.3	88.6			9.1
非製造業	(見通し 5.4 今期比 ▲ 1.1)	6.5	78.3	10.9	1.1	3.3
建設業	(見通し 0.0 今期比 0.0)		90.9			9.1
小売業	(見通し 12.5 今期比 0.0)		87.5			12.5
卸売業	(見通し ▲ 7.7 今期比 ▲ 7.7)	15.4	76.9			7.7
サービス業	(見通し 7.1 今期比 0.0)	7.1	73.8	11.9	2.4	4.8
その他業	(見通し 10.0 今期比 0.0)	10.0	70.0			20.0

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 無回答

今期と比較した来期(H31年1月～6月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で2.3ポイント悪化の6.8、非製造業で1.1ポイント悪化の5.4、全業種で1.5ポイント悪化の5.9と見通している。非製造業では、「小売業」のみ今期比でマイナスを見通した以外は、横ばいの見通しとなった。

◆ 今期 (H30年7月～12月) の新規設備投資を実施した割合

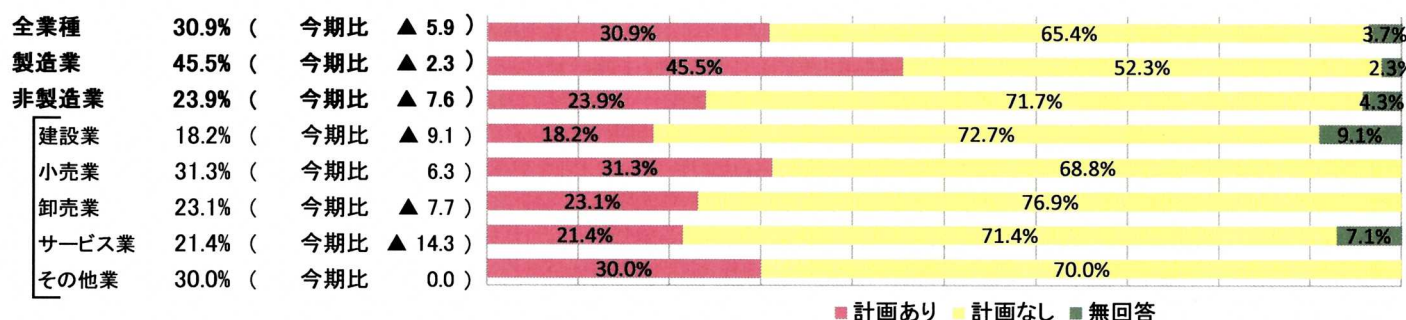


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査 (平成30年7月実施) のDI値と今期を比較した増減です。

◆ 来期 (H31年1月～6月) の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	2.3%	7.6%	0.0%	② 18.8%	7.7%	4.8%	10.0%
需要の停滞	11.4%	③ 15.2%	9.1%	② 18.8%	15.4%	③ 11.9%	② 30.0%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	4.5%	8.7%	9.1%	6.3%	15.4%	7.1%	10.0%
新規参入業者の増加	2.3%	5.4%	9.1%	③ 12.5%	0.0%	4.8%	0.0%
製品 (消費者・利用者等) ニーズの変化への対応	20.5%	12.0%	0.0%	① 25.0%	7.7%	9.5%	③ 20.0%
生産設備の不足・老朽化	③ 31.8%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
原材料の不足	2.3%	3.3%	18.2%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	② 38.6%	③ 15.2%	③ 27.3%	③ 12.5%	③ 23.1%	③ 11.9%	10.0%
下請負単価の上昇	2.3%	4.3%	② 36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	2.3%	3.3%	18.2%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	3.3%	0.0%	③ 12.5%	0.0%	2.4%	0.0%
金利負担の増加	2.3%	1.1%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	10.0%
在庫の過剰	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	13.6%	2.2%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%
人件費の増加	22.7%	② 19.6%	③ 27.3%	② 18.8%	② 30.8%	② 16.7%	10.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	3.3%	0.0%	② 18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	2.3%	10.9%	0.0%	③ 12.5%	15.4%	9.5%	③ 20.0%
従業員・熟練技術者の確保難	① 43.2%	① 40.2%	① 63.6%	③ 12.5%	① 38.5%	① 45.2%	① 40.0%
燃料費 (電気料金を含む) の高騰	6.8%	3.3%	0.0%	0.0%	7.7%	2.4%	10.0%
その他	4.5%	10.9%	0.0%	③ 12.5%	15.4%	③ 11.9%	10.0%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：平成30年7月1日から平成30年12月31日（平成30年下期）
- 調査実施期間：平成30年12月20日から平成31年1月23日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下 337 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：70（回答率 20.8%）

従業員数		0～5人	6～20人	合計
業種				
製造業		8	10	18
非製造業	建設業	2	3	5
	小売業	9		9
	卸売業	4		4
	サービス業	29		29
	その他業	3	2	5
合計		55	15	70

業況DI

今期(H30年7月～12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

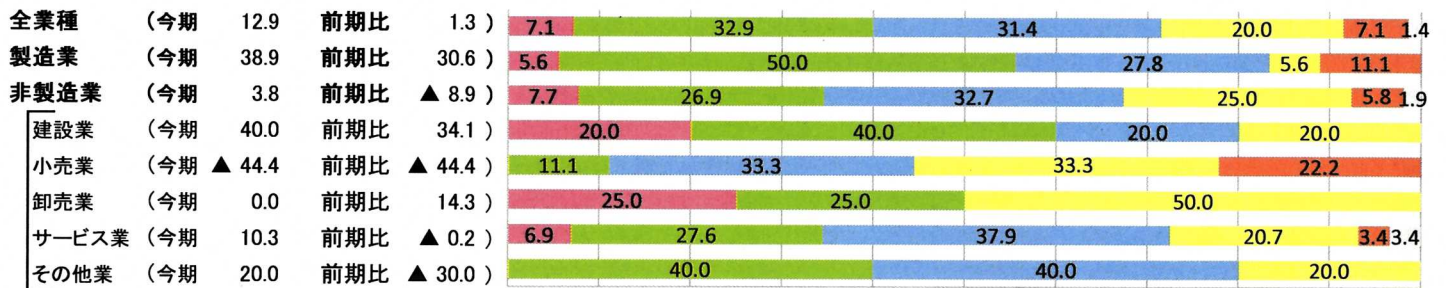


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

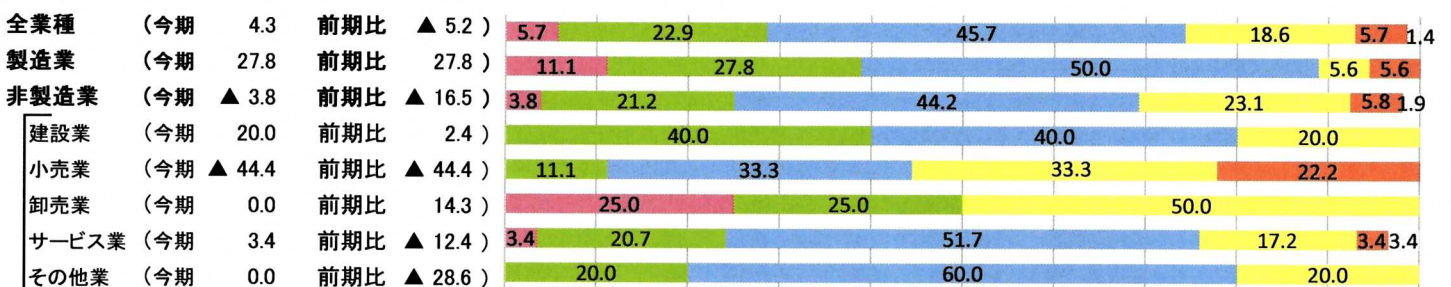
■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

採算DI

今期(H30年7月～12月)のDI値

(採算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年7月～12月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

在庫DI

今期(H30年7月～12月)のDI値

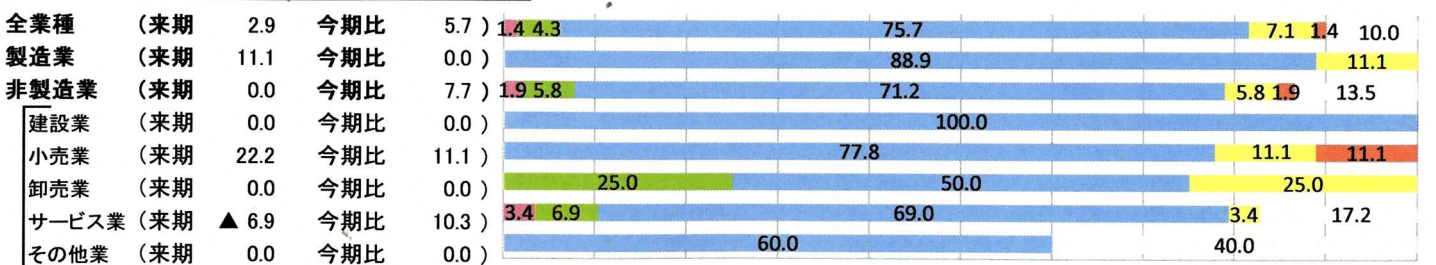
(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

仕入単価DI

今期(H30年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 無回答

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



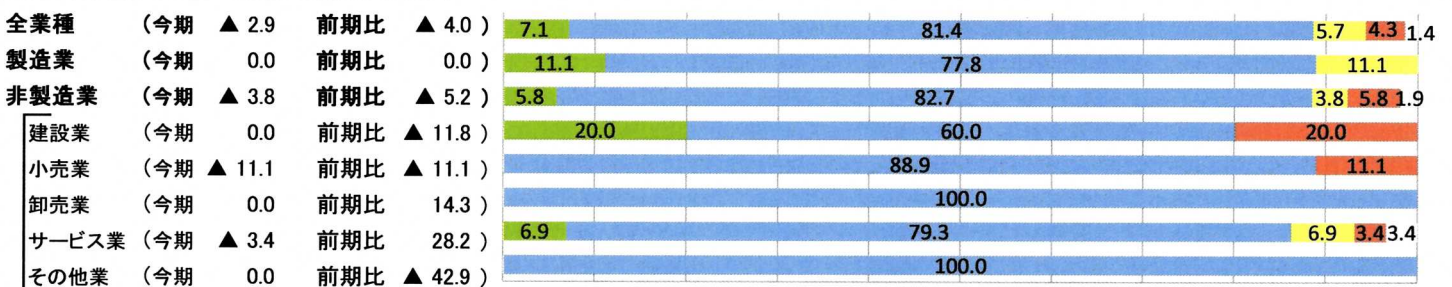
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 無回答

従業員数DI

今期(H30年7月～12月)のDI値

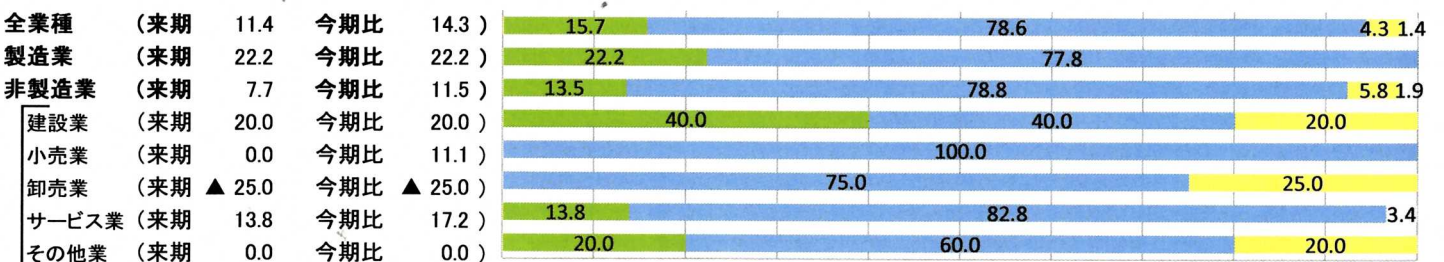
(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 無回答

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値

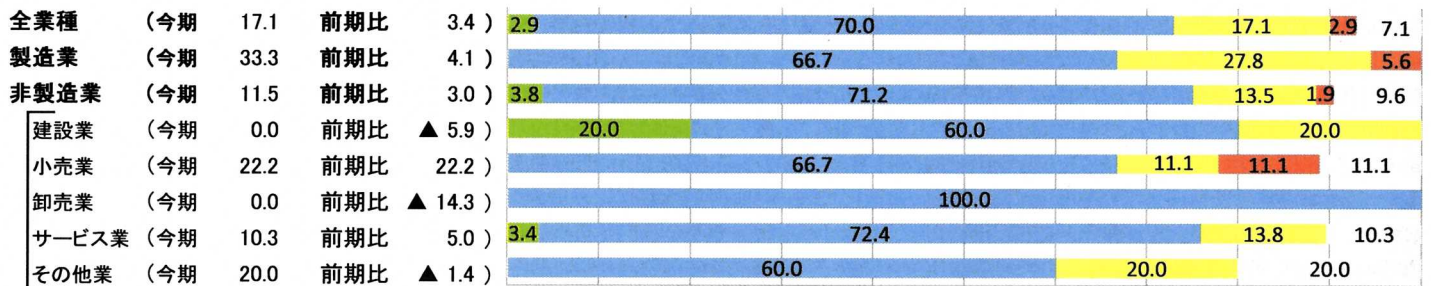


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

今期(H30年7月～12月)のDI値

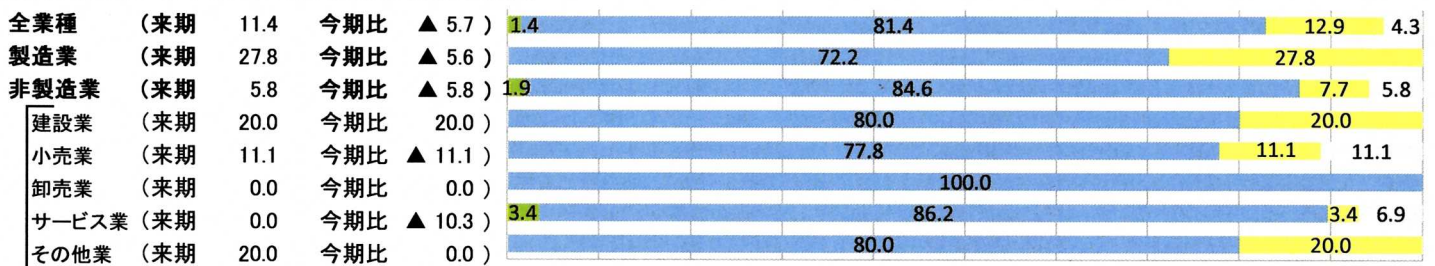
(設備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H31年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(H30年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成28年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(H31年1月～6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	3.8%	0.0%	③ 22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	16.7%	② 17.3%	0.0%	② 33.3%	① 25.0%	③ 10.3%	① 40.0%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	5.6%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	③ 10.3%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	11.1%	9.6%	0.0%	11.1%	① 25.0%	6.9%	② 20.0%
生産設備の不足・老朽化	② 27.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%
原材料の不足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	③ 22.2%	① 19.2%	② 40.0%	③ 22.2%	① 25.0%	① 17.2%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	3.8%	0.0%	11.1%	0.0%	3.4%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	5.6%	7.7%	0.0%	11.1%	① 25.0%	6.9%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	3.8%	③ 20.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	11.1%	3.8%	0.0%	11.1%	① 25.0%	0.0%	0.0%
人件費の増加	16.7%	7.7%	③ 20.0%	0.0%	0.0%	③ 10.3%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	7.7%	0.0%	① 44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	5.6%	③ 11.5%	③ 20.0%	11.1%	0.0%	6.9%	① 40.0%
従業員・熟練技術者の確保難	① 50.0%	① 19.2%	① 60.0%	0.0%	① 25.0%	① 17.2%	② 20.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	11.1%	5.8%	③ 20.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%
その他	11.1%	9.6%	0.0%	11.1%	0.0%	② 13.8%	0.0%